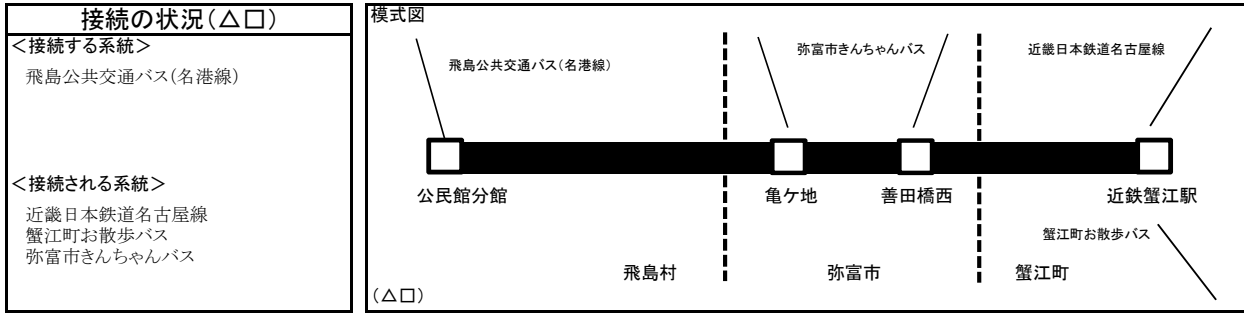


平成28補助年度 補助系統別事業評価票(蟹江線)

1.補助系統の概要(△)

| 系統名 | 運営主体 | 運行事業者 | 区間 | キロ程 | 運行回数 | 関係市町村 |
|---------------|---------------------|---------|---------------|--------------------|-------|---------|
| 飛島公共交通バス(蟹江線) | 飛島村地区公共交通連絡会(非営利法人) | 三重交通(株) | 近鉄蟹江駅前～近鉄蟹江駅前 | 往12.9km 復14.5km | 16.7回 | 弥富市、蟹江町 |
| 細系統 | | | | km | 回 | |
| | | | | km | 回 | |
| | | | | km | 回 | |

※「細系統」には、補助上同一系統とみなされている系統について、系統ごとの情報を記載(系統名、区間は他の系統と違いが分かるよう記載)



2.H28年度の運行状況

| 計画どおり運行されたか(△) | | 評価の基準 | (参考数値) 主要指標の推移(△) | | | | | |
|----------------|-------------------|---|-------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 評価 | 計画どおりか。そうでない場合は理由 | | 年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
| A | 計画通り運行されている。 | <p>A → 事業計画どおりの運行回数が確保されている場合</p> <p>B → 車両故障等運行事業者の責に帰すべき事由により、運休(一部区間の運休を含む)が生じた場合</p> <p>C → 系統廃止に至る場合</p> | 利用者数(人) | 103,501 | 108,633 | 111,525 | 123,688 | 137,958 |
| | | | 平均乗車密度 | 2.1 | 2.2 | 2.2 | 3.9 | 4.3 |
| | | | 輸送量 | 33.8 | 32.1 | 32.1 | 60.8 | 71.3 |

目標・効果達成状況

| 評価 | 目標の達成状況(△) | 運営主体の所見、理由分析、認識(△) | 市町村の所見、理由分析、認識(□) |
|---|------------|---|--|
| A | 目標 | 131,000 | <p>市町村名: 蟹江町</p> <p>近鉄蟹江駅に接続するダイヤ見直し及び増便に伴い、平成28年度前半だけを見ても利用率が増加している。 交通状況により特に早朝に遅延が発生しているため、一部ダイヤの見直しを運営主体から提案された。</p> |
| | 結果 | 137,958 | |
| | 特記事項 | | |
| 評価の基準 | | 市町村の所見、理由分析、認識(□) | 市町村の所見、理由分析、認識(□) |
| A → 年間目標利用者数を達成できた場合 | | 市町村名: 弥富市 | 市町村名: |
| B → 年間目標利用者数は達成できなかったものの、目標の半数以上の利用があった場合 | | <p>蟹江線は、当市から近鉄蟹江駅へのアクセス需要に対応する重要な路線である。きんちゃんバス全体の利用者数は前年度比104.2%となっており、そのうち蟹江線と一部バス停を共有する東部ルートの利用者数は前年度比108.5%となった。また、利用者アンケートでは3.3%の方が蟹江線との乗り継ぎ利用をしたことがありと回答しており、まだまだ少ない状況である。</p> | |
| C → 年間利用者数が目標の半数に満たなかった場合 | | | |

複数市町村を跨ぐ系統としての役割

| 指標(市町村を跨いでの利用) | 利用状況及び所見(運営主体)(△) | 住民の利用状況(□) | 住民の利用状況(□) | 住民の利用状況(□) |
|----------------|------------------------|-----------------------------------|---|------------|
| 市町村を跨ぐ利用者数(△) | 11,490人/月 | 市町村名: 蟹江町 | 市町村名: 弥富市 | 市町村名: |
| 全利用者に占める率(△) | ほぼ100% | 鉄軌道のない飛島村への近鉄蟹江駅利用者の通勤・通学に寄与している。 | 十四山地区住民を中心に、名古屋方面への通勤・通学や買い物等のために近鉄蟹江駅の利用があると考えられる。 | |
| 特記事項 | 乗降カウンター等が搭載されていないため推定値 | | | |

(参考数値・情報) その他、運行改善や利用促進に参考となる数値・情報

| 運営主体(断面輸送量、競合系統合算断面輸送量、主な停留所乗降者数等)(△) | 沿線市町村(沿線の状況等、すべての沿線市町村一括記載)(□) |
|---|--|
| 特になし(各停留所の乗降客数調査は、利用者数の減少等の問題が生じた際に、法定協議会の協議をふまえ、不定期に実施している。) | 近鉄蟹江駅前広場整備が平成30年から着工予定である。(蟹江町) 海南病院改築工事が平成28年11月末に完了することに伴い、平成28年12月1日よりきんちゃんバス全ルートの海南病院への乗り入れを実施し、あわせてきんちゃんバスと蟹江線との乗り継ぎに配慮しつつダイヤ改正を実施する。(弥富市) |

3.H28年度の取り組み状況

| | | 運営主体の取組(△) | 市町村の取組(○) | 市町村の取組(○) | 市町村の取組(○) |
|----------------------------|-----------------------|--|---|--|-----------|
| 踏 ま え た 取 組 | 直近事業評価結果(△) | 年に2～3回、法定協議会を開催し、関係機関との意見交換を行うとともに、バスロケーションシステムの導入、ダイヤ改正等を検討し、利用者の利便性向上に努めた。住民向けには村イベント時に、チラシ・パネルを作成し事業のPRを実施した。 | 市町村名:蟹江町 | 市町村名:弥富市 | 市町村名: |
| | 評価 | | 遅延対策の一部としてICカードシステム導入の検討をした。利用者への利便性向上のため、バスロケーションシステムの導入を検討した。 | きんちゃんバス利用者を対象にアンケートを実施し、飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎ状況や評価を把握し、飛島村も参画している弥富市地域公共交通活性化協議会(年4回開催)において情報共有を図った。 | |
| そ の 他 の | 改善点とした事項 (関係者の連携等) | | | きんちゃんバス時刻表への蟹江線との乗り継ぎダイヤ掲載や、弥富市HPには蟹江線の、飛島村HPにはきんちゃんバスの時刻表やリンクを掲載するなどの情報提供を行っている。 | |

4.今後の課題

| 課題と認識している事項 | | | | |
|--|---|--|----------|----------|
| 運営主体(△) | 沿線市町村(○) | 沿線市町村(○) | 沿線市町村(○) | 沿線市町村(○) |
| 降雨時の朝夕通勤・通学時間帯における乗降客のピーク時に、満車に近い状況となっており、将来、積み残しが発生する懸念がある(直近は、ダイヤ改正により対応。将来に向けて増車対応の検討を実施予定としている。) | 市町村名:蟹江町 1台でのピストン運行であるため、1つの遅延が終日尾を引いてしまう。 | 市町村名:弥富市 きんちゃんバスの利用者数は増加傾向となっているものの、蟹江線との乗り継ぎ利用は少ない状況にあるため、近鉄蟹江駅へのアクセス需要の把握や乗り継ぎダイヤの調整、周知活動など、継続的に取り組みを推進する必要がある。 | | |

注. 評価にB、Cがある系統、又は、輸送量が15人を下回る系統については、特に念入りに課題を探すこと。

5.今後の取組

| 課題に対応した取り組み、その他の利便性の向上、利用促進の取り組み | | | | |
|----------------------------------|---|--|--|-----------|
| 取組時期 | 運営主体の取組(△) | 市町村の取組(○) | 市町村の取組(○) | 市町村の取組(○) |
| H29年度、H30年度 に行う取組 | 平成26年度、27年度、28年度と利用者が増加している。平成29年度に利用者アンケートを実施し31年度の次期交通網計画策定に向け準備をしていく。 | 市町村名:蟹江町 利用者への利便性向上のため、バスロケーションシステムの導入を検討した。 | 市町村名:弥富市 蟹江線が運行する十四山地区住民を対象としたアンケートを実施し、蟹江駅へのアクセス需要を把握する。また、平成28年12月1日のダイヤ改正に伴い発行する新時刻表にも蟹江線との乗り継ぎダイヤを掲載するなど、乗り継ぎ利用ができることを周知することで利用促進を図る。 | |
| 中、長期的な取組 | 詳細は未定であるが、車両の更新時期に向けて現在運行している3台からさらに増車する必要があるのか、利用状況を分析し、次期交通網計画に盛り込む必要があると考える。 | 遅延対策の一部としてICカードシステムの導入を検討したが、既存車両への導入は費用負担が大きいため、車両更新に併せて整備を再検討する。 | 蟹江線が運行している飛島村役場への南部ルートへの乗り入れ検討や、きんちゃんバスと蟹江線との乗継券発行の検討を実施予定。 | |

注. 評価にB、Cがある系統(運営主体以外にあっては、目標の達成状況に関する評価がB、C)、又は、輸送量が15人を下回る系統については、特に詳しく記載すること。

注. 予算の都合等から明言ができないときは、「〇〇の制約があるが(〇〇の検討を要するが)〇〇の取り組みを行っていきたいと考えている」等や「〇〇の取り組み(詳細は未定であるが、例えば〇〇のような取り組み)を行っていきたいと考えている」等と記載すること。

6.早期に利用状況を改善するために行う取組(C又は輸送量15人未満の場合)

| 運営主体(△) | 沿線市町村(○) | 沿線市町村(○) | 沿線市町村(○) |
|---------|----------|----------|----------|
| | 市町村名: | 市町村名: | 市町村名: |
| | | | |

注. 目標の達成状況に関する評価がC、又は、輸送量が15人を下回る系統については、記載する。

注. 緊急に実施すべきことで、実施できそうなことを記載する。

| |
|---|
| 通信欄 (この欄は、関係者間で付記したいことや特記事項がある場合に利用する。県協議会事務局からの依頼事項についても記載する。) |
| ※適宜、セルの結合を変えて利用してください |